

1971年8月7日第3種郵便物許可（毎月6回）1の日・2の日発行
 2008年5月25日発行SSKA増刊通巻第6244号

SSKA
全国パーキンソン病
友の会会報
 茨城県支部だより

第78号	郵便為替口座番号 00300-4-38042
平成20年	全国パーキンソン病友の会茨城県支部
2008.5.25	〒315-0018 茨城県石岡市若松 1-1-5
	TEL&FAX 0299-22-5580
	メールアドレス yxnpd002@ybb.ne.jp



目 次

<input type="checkbox"/>	はじめに	2
<input type="checkbox"/>	総会の報告	3~18
<input type="checkbox"/>	会員の広場	19~27
	・ 体験談	
	・ 感想文	
	・ 趣味コーナー	
	・ 文芸コーナー	
	・ 知・得コーナー	
<input type="checkbox"/>	新聞記事	28~30
<input type="checkbox"/>	事務局だより	31
<input type="checkbox"/>	編集後記	32

はじめに

田植えが終わったばかりの田んぼには、一面、小雨にぬれ鮮やかさを増した黄緑色の早苗がゆれています。人の田んぼながら、「今年も頑張って豊作になってくれよ」と願うこの頃です。皆さんは如何お過ごしですか。

お待たせいたしました。「全国パーキンソン病友の会会報・茨城県支部だより《78号》」が出来ましたので、早速お手元におとどけいたしました。例年ですと、まだ鯉のぼりが空を泳いでいるうちの発行となりますが、今年は諸般の事情により遅れてしまい申し訳ありませんでした。

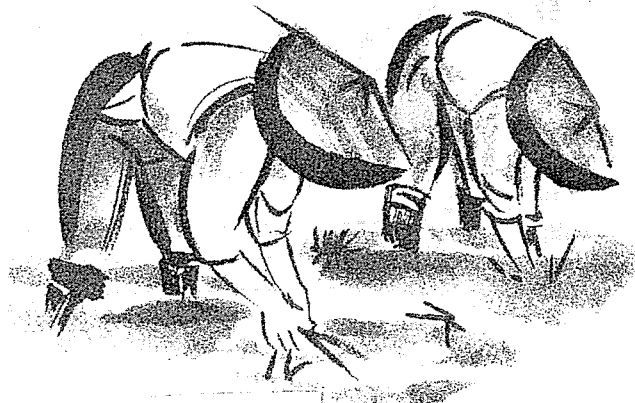
78号は、「総会特集号」として、今年4月に開催された「第23回定期支部総会」の結果報告を第一の発行目的とし、特に当日参加できなかった方に見ていただきたいと思っています。このため、掲載資料として総会の総括とともに審議の流れが分かる当日の議案書をそのまま転載しています。これを読んで頂ければ友の会の活動状況、我々を取り巻く社会情勢そして会費予算等、経済的な問題などについてご理解頂けるものと思います。是非一読されご質問やご意見等がありましたら、事務局までご連絡下さい。

、78号の後半部に会員の広場(みんなのひろば)というコーナーを設けてみました。このコーナーは患者・家族からの投稿により成り立つもので、嬉しいこと、悲しいこと、悩みごとなど何でも結構です。お知らせ下さい。すべてを自分の事として分かち合い、喜びは倍加させ、悲しみは分散させ、ともに喜び、ともに悩む、そんな広場を作りたいと思います。

さらに、ここでは俳句・短歌・川柳などの文芸コーナー、誰でも何かは持っている趣味を紹介する趣味コーナー、そして、知っていると人より得をする情報を提供する知・得(しっとく)コーナーなど、遊びを交えた何でも有りのそんな広場にも

したいと思っています

皆さんのご意見
をお待ちして
います。



第 23 回支部定期総会の報告

水戸市千波町の県総合福祉会館に於いて、第 23 回定期支部総会が綿引義男役員
の総合司会の発声で、今年亡くなった方々に黙祷を捧げた後来賓者を紹介し、ご
祝辞を頂きました。

総会の議長に山村寛役員が選出され、第1号から第8号迄の議案が提案され、
全ての議案が承認された。

総会第2部の医療講演に、筑波大学大学院人院人間総合科学研究所神経内科
准教授渡邊雅彦先生が『パーキンソン病と共に生きると』と題して講演を拝聴した。

参加者 会員 30 名 付添者9名 ボランティア3名 委任状 86i

総会に参加した会員の名簿

つくば市・荒井富美子様 つくば市・小島久子ご夫妻様 つくば市・大久
保幸市様子様 潮来市・窪谷ふみご子息様 小美玉市・石津喜美子様 竜ヶ
崎市・植本泰久ご夫妻様 水戸市・関和子様水戸市・鹿志村悟様 水戸
市・宮部和子様 ひたちなか市・宮本雅夫様 ひたちなか市・山村寛様
高萩市・松田千年ご夫夫妻様 鹿嶋市・茂雄ご夫妻様 笠間市・田口静保様
笠間市・市毛アイ子様 笠間市・秋山とし子様 笠間市・綿引義男様 小美玉
市・橋本栄ご夫妻様 日立市・山崎博史様 取手市・藤原純雄様 那珂市・
寺崎博士様 八千代町・服部恵子様 日立市・大高美代ご夫妻様 常総
市・小島信和ご夫妻 日立市・松井正弘様 ひたちなか市・西野晴子様
水戸市・紺野喜美子様 水戸市・森田昭代様

医療講演会

□ 一般参加者 38名

何所からですか

水戸市	24名
ひたちなか市	7名
常陸太田市	2名
石岡市	2名
大洗町	2名
つくば市	1名

何で知りましたか

朝日新聞	8名
読売新聞	9名
毎日新聞	3名
茨城新聞	3名
茨城放送	2名
その他	13名

総会に不参加の会員の近況

(平成20年4月現在)

【返信はがきから】

[順不同]

◎役員・会員の皆様にはいつもお世話になっております。

昨年入院し治療もしましたが、現在も日中の変動がありつらいです。自分なりに気分転換を考え、その日その日を過ごす様心がけております。

今回は出席できると思っていたのですが、家庭の事情により出席出来なくなってまいりました。残念です。

どうか皆様お体を大切に、次回お逢い出来ることを楽しみにしております。

《東海村・S》

◎お世話になります。

この日は仲間の花見があって行けませんのでよろしくお願い致します。

《常陸大宮市・S》

◎元気でおります。

当日は来客がありますので留守に出来ません。申し訳ありません。

総会の発展を祈願いたします。

《☆☆☆・M》



◎自分のことは自分でやっています。時々ミシンを使用しています。天気の良い日には芝の草取りをします。

《小美玉市・U》

◎今回も参加できずに申し訳ありません。

この頃は家の中でも一人で歩くことができずに車椅子の生活です。本当につらいですね。

今後ともよろしく願いいたします。

《笠間市・K》

◎大変お世話になりましたが、4月26日に静岡県伊東市の娘のところに引越することになりました。

これまでのご厚情に感謝申し上げます。

《水戸市・Y》

◎足と手が震える、足の付け根がしびれる、腰が痛む。

脊柱圧迫骨折のため、立ったり腰をおろすことができない。

痛い痛い連発です。背骨が出張ってしまった。

《日立市・K》

◎いつもお世話様になっています。
現在私はいばらき診療所で世話にな
っています。月二回～三回医者が自
宅に来てくれて診察を受けています。
二週間ごとに薬の調整をしながらの
診察で、この頃は充分足も良くなっ
てきたような感じがしています。

出席する迄には未だなりません
が頑張る出来るように致したいと思
います。

よろしくお願ひ申し上げます。

《☆☆☆・H》

◎いつもお世話下さいましてありが
とうございます。

殆んど外出できない状態で毎日
を過しております。

《☆☆☆・T》

◎いつもお世話になりましてありが
とうございます。

私事で申し訳ありませんが、欠席
とさせて頂きますので、よろしくお
願ひ申し上げます。

《☆☆☆・N》

◎いつもお世話様になりありが
とうございます。

私は変わらず過しています。寒さ
には少々弱いのみです。今後ともよ
ろしくお願ひ申し上げます。

《☆☆☆・☆》

◎残念ですが当日は所用にて出かけ
ます。欠席させていただきます。

盛会をお祈り申し上げます。

《つくば市・Y》

◎腰痛がひどく歩行が困難なので参
加できません。痛みをとる良い方法
があつたら教えて下さい。

《牛久市・K》

◎いつもご連絡ありがとうございます。
足がおとろえないようにと、毎
日山歩きをしています。

《☆☆☆・S》

◎ここ一、二年体調不良で出席でき
ず残念です。

《☆☆☆・N(代)》

◎いつもお世話になっております。
自分の都合により欠席します。

私も春になって体調良く毎日
を過しております。

よろしくお願ひします。

《小美玉市・I》

◎私の体もじょじょに進行していま
す。薬の効いている時間が短く、切
れると頭が締め付けられ、胸は圧迫
され非常に苦しくなります。

皆様頑張るして下さい。

《☆☆☆・M》

◎日頃は大変お世話になっています。
会長様のご体調は如何でしょうか。

私は今ON/OFFの差が大きく、日常生活に不便を感じています。どうかしようと考えていますが、良い改善法は見付け出せないでいます。

病むということは、苦しく孤独なものです。人生の集大成がこのような結果を迎えようとは考えもしなかったことです。この時期を乗り越えなければどうしようもないことだと理解してはいるのですが立ち止まったままです。後にも先にも進むことが出来ません。自分の不甲斐なさを実感しております。同病の皆様もきっと同じ事を感じられたことと思われます。

いつか『あのようなことがあったね』と思い出せる日が来ることを願い、毎日を全力で呼吸しております。笑顔いっぱいでお会いできる日を楽しみにしています。

お体を、お二人様どうぞご自愛下さい。

《北相馬郡・W》

◎いつもお世話になっています。
このところ、体調がわるく。付添が☆なくてはちょっと不安です。残念ながら不参加です。

宜しくお願い致します。

《☆☆☆・I》

◎寒い風もどうにか去って行き桜が満開に、どこの外の道も楽しくゆっくり歩けるようになりました。寒い間は足もすり足で動きがにぶく杖必要でしたが、デーサービスの友達とゆっくり歩いてお花見ができました。

いつもご心配を頂きありがとうございます。

先月は息子の一周忌のため長崎まで車椅子で往復してきました。疲れましたが皆様のご親切に甘え、無事帰ってきました。皆様のご親切、ありがとうございました。

《竜ヶ崎市・T》

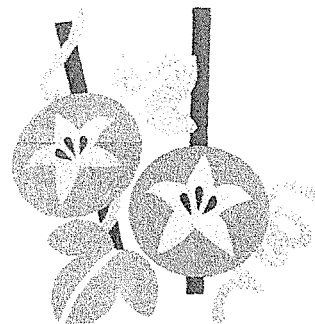
◎体調が一定していないのが、天候のせいなのか困りものです。

《☆☆☆・T》

◎椅子でも車椅子でも長時間座ってられない状態なので、不参加とさせていただきます。

会のますますの発展を祈念しております。

《つくば市・N》



◎最近はアルツハイマーの症状のために会話も満足に出来なくなりました。

《高萩市・I》

◎いつもありがとうございます。

入浴等の日常自分のことはかろうじてできています。

発病してから6年目に入ります。

すこしこのごろスクミ足がつよくできてきたかなと思います。でも家の中では移動が可能です。

《常総市・I(代)》

◎桜の花を楽しんでいるこの頃です。近くに白内障の手術を控えており参加できずに残念です。

爽り多い集まりになりますよう祈っております。

《☆☆☆・☆》

◎いつも連絡ありがとうございます。

暖かくなったからでしょうか。最近では体調もよく、足の痛みもなく一年前に比べると、家の回りの雑用もすることができるようになりました。

今回は申し訳ありませんが欠席させていただきますので、よろしく願い申し上げます。

《石岡市・K》

◎20年ほど前からパーキンソン病を発症し、そのため次第に身体が不自由になり、現在は立つことも歩くこともままならない状態です。そのため医療講演会は欠席させていただきます。

《笠間市・S(代)》

◎都合で不参加です。

特に変化はありませんが、元気で過ごしています。

《☆☆☆・☆》

◎いつもお世話になります。

過日、県南地区の友の会に初めて出席させていただきました。会員の皆様方がそれぞれ頑張っておられる様子を拝見し力づけられました。

又、順天堂の林先生によるパーキンソン病についての講演会もQ&A方式で行っていただき、大変勉強になりました。

今回は、生憎予定が入っており残念ですが出席できません。今後、事情の許す限り出席させて頂きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

《古河市・F》



◎不参加で大変申し訳ありません。
このところあまり調子が良くないので、参加する事を見合わせて頂きます。誠に申し訳ありません。

《☆☆☆・E》

◎付添いがいけませんので行かれませ
ん。よろしくお願ひします。

《☆☆☆・☆》

◎発症して2年目になりますが、パ
ーキンソン病に対して負けない努力
をしています。

リハビリ、食生活など生活習慣を
変えて頑張っています。お陰様で今
のところ進行はなく薬もふえませ

《常総市・K》

◎DBSを受けていますが、1回目
の電池交換が3年後でした。もうそ
ろそろ2回目が近づいて（また3年
たつ）きている様に思います。前回
は都立神経病院でしたが、もっと近
いところ、良いところはないか調べ
ています。

《取手市・M》

◎発病7年目になります。歩行がま
すます困難になりました。一人で外
出は出来ません。

ご盛会をお祈りします。

《つくばみらい市・K》

◎いつもありがとうございます。付
添者の都合が悪く欠席です。

腰痛で悩まされています。薬が効
いていない朝・夜が特につらいです。

《筑西市・I》

◎”人生に目標を”私は現在2・3
のデーサービスを受けています。1
日の内で30分ほどが週3回、1時
間が週2回ほど実施している施設が
あります。

それは「カラオケ」です。カラオ
ケは体と心のリハビリに良いと思っ
ています。ライフワークの一つとし
て頑張っています。

《古河市・T》

◎患者入院中につき、家族のみ参加
させていただきます。

《☆☆☆・M(代)》

◎急に用事ができてしまいましたの
で欠席させていただきます。

《つくば市・Y》

◎いつも欠席で申し訳ありません。
特に変わりはなく、加齢からの困難
さが増えております。

会の発展のために日々努力してい
る会員さんには頭が下がります。お
身体を大切にして下さい。

《鹿嶋市・U(代)》

◎不参加で大変申し訳ありません。
ここのところあまり調子が良くないので、参加する事を見合わせて頂きます。誠に申し訳ありません。

《☆☆☆・E》

◎付添いがいけませんので行かれませんが、よろしく願います。

《☆☆☆・☆》

◎発症して2年目になりますが、パーキンソン病に対して負けない努力をしています。

リハビリ、食生活など生活習慣を変えて頑張っています。お陰様で今のところ進行はなく薬もふえません。

《常総市・K》

◎DBSを受けていますが、1回目の電池交換が3年後でした。もうそろそろ2回目近づいて（また3年たつ）きている様に思います。前回は都立神経病院でしたが、もっと近いところ、良いところはないか調べています。

《取手市・M》

◎発病7年目になります。歩行がますます困難になりました。一人で外出は出来ません。

ご盛会をお祈りします。

《つくばみらい市・K》

◎いつもありがとうございます。付添者の都合が悪く欠席です。

腰痛で悩まされています。薬が効いていない朝・夜が特につらいです。

《筑西市・I》

◎”人生に目標を”私は現在2・3のデューサービスを受けています。1日の内で30分ほどが週3回、1時間が週2回ほど実施している施設があります。

それは「カラオケ」です。カラオケは体と心のリハビリに良いと思っています。ライフワークの一つとして頑張っています。

《古河市・T》

◎患者入院中につき、家族のみ参加させていただきます。

《☆☆☆・M(代)》

◎急に用事ができてしまいましたので欠席させていただきます。

《つくば市・Y》

◎いつも欠席で申し訳ありません。特に変わりはなく、加齢からの困難さが増えています。

会の発展のために日々努力している会員さんには頭が下がります。お身体を大切にしてください。

《鹿嶋市・U(代)》

◎発病して4年半、昨年夏頃より関節の痛み、足筋肉の硬直化を感じ体のバランスが悪くなりました。最近では起きあがるための足の力が極端に弱り、腰痛にもなり悩んでいます。

飲んでいる薬

◎ イーシドパル 100mg 1日5錠

◎ ビシフロール 0.5mg 1日2錠

◎昨年9月より漢方煎じ薬を飲んでいますが色々お世話になり感謝申し上げます。

《☆☆☆・A》

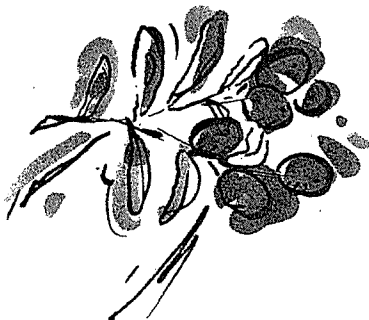
◎長いこと色々お世話になりましたが、昨年六月に主人は他界致しました。パーキンソン病を患ってから丁度十年になりました。

清水様には友の会のため御支援下さり感謝致しております。

会の益々の発展お祈り申し上げます。

《水戸市・N》

☆:住所、氏名等が不明



◎久しくご無沙汰致しております。パーキンソンは確実に悪くなっており、字を書くこともままならないです。参加できないことはほんとに残念です。

皆々様のご盛会と活躍をお祈り致しております。

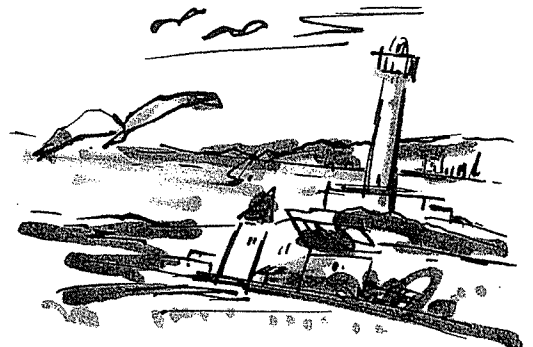
《東海村・T》

◎P病の方は特に変化はありません。骨粗鬆症の関係か、腰骨が骨折して絶対安静が必要ということで、3月初めから入院しております。

やっと起こされて車椅子に乗れるようになったところです。まだまだ退院まではしばらくかかります。

《日立市・Y》

以 上



平成19年度活動報告

一昨年、特定疾患対策懇談会が、特定疾患治療研究事業の要件に該当するよう対象者の範囲を見直すとの取りまとめが行なわれた。

その結果政府与党の政務調査会厚生労働部会の決議により、従来通り継続された。去る12月2日には財務省20年度の特定疾患治療研究事業の予算額として36億円アップ、282億円の予算内示となった。

一昨年の与党の決議に引き続き、難病対策の緊急性を訴え続けてきた私たちの要望は、与野党の難病議員連盟パーキンソン病作業部会難病対策プロジェクトチームの強力な支持を得ることができた。これらを受けて各地方議会では要望書が次々と採択され、それが国民の声として国会両院議長、内閣総理大臣に届けられ、冒頭の成果を挙げたものと考えられる。このような状況の中、次のような活動を行なった。

- 第4回パーキンソン病フォーラムを結城市市民ホールで開催した。
(19. 4, 8)
- パーキンソンデー国会請願を厚生労働省へ行なった。(19. 4, 11)
- 第22回支部総会を県総合福祉会館 4階大研修室で開催した。
(19. 4, 15)
- 第26回難病連総会を県総合福祉会館 4階大研修室で開催した。
(19. 5, 12)
- 県南地区別交流会を駒柴公民館で開催した。(19. 6, 17)
- 第31回全国総会・大会が名古屋市名鉄グランドホテルで開催された。
(19. 6, 21. ~ 22)
- 第5回パーキンソン病フォーラムを守谷市中央公民館で開催した
(19. 7. 22)
- 全国支部長会議が東京南青山会館で開催された。(19. 9. 19. ~ 20)
- 関東ブロック会議が栃木県馬頭温泉那珂川苑で開催された。
(19. 10. 7. ~ 8)
- 県央・県北地区別交流会を県総合福祉会館で開催した。
(20. 3, 9)
- 県南地区別交流会を駒柴公民館で開催した。(20. 3, 16)

平成19年度活動日誌

支部役員会
19. 5.20
7. 7
9.15
11.18
20. 1.20
3.23

難病連役員会
19. 6. 9
8. 5
10. 6
12.15
20. 2.23

各種会報等発送		
19. 4.15	全国会報	109号
'	難連会報	57号
5.10	支部会報	75号
6.20	全国会報	110号
7.29	難連記録紙	
6.13	全国会報	111号
9.20	支部会報	76号
20.3.24	難連会報	58号
3.26	全国会報	112号

難病電話相談	
19. 4. 3	19. 9.11
4.10	10. 9
4.17	10.23
4.24	11. 6
5. 6	11.23
5.16	12.11
5.20	12.18
6. 5	20. 1. 8
6.12	1.18
6.16	1.22
6.25	1.29
7. 1	2. 2
7. 2	2. 3
7.17	2.14
7.24	2.18
7.31	2.29
8. 7	3. 4
8.14	3.11
8.21	3.18
8.28	3.24
9. 4	3.28

その他
<p>19.10.11 「ねんりんピック茨城」が県内各地で開催され、茨難連は役員が、ひたちなか会場でJPAの国会請願の署名・募金活動を行なった。</p> <p>20.2.1 JPDA国会請願の紹介議員に成っていただく為に衆議院議員丹羽雄哉氏の石岡事務所を訪問しお願いした。 署名簿 680筆</p> <p>20.3.25 JPDA国会請願の紹介議員に成っていただく為に参議院議員岡田広氏の水戸事務所を支部役員5人で訪問し、署名簿とP病ワーキンググループ加入のお願いをした。 署名簿 668筆</p>

平成20年度活動方針

- ① マスコミ、県や市町村の広報、病院、保健所を通じて未加入潜在患者の発掘につとめると共に、一般社会にパーキンソン病の啓発宣伝を行います。
- ② 地区別（ブロック）活動の推進をはかります。
- ③ 患者・家族交流会を行いません。
- ④ ご要望に応じて患者宅へ友愛訪問を致します。
- ⑤ 県難連、他の難病患者団体、全国パーキンソン病友の会他支部との連携を深めていきます。
- ⑥ 支部会報（支部だより）を発行します。
- ⑦ 関東地区ブロック会議を開催します。
今年度は茨城県支部が幹事として準備を進める予定です。



平成20年度支部役員選出

敬称略

支 部 長	清 水 昇 勝 (石岡市)	全 体 対 応
副支部長	植 本 泰 久 (竜ヶ崎市)	県南地区担当
〃	※◎寺 門 正 次 (那珂市)	県北地区担当
事務局長	※◎清 水 晴 美 (石岡市)	中央地区担当
事務局員	◎ 植 本 純 代 (竜ヶ崎市)	県南地区担当
〃	◎ 綿 引 義 男 (笠間市)	中央地区担当
〃	◎ 宮 部 知 克 (水戸市)	〃
会 計	西 村 雅 夫 (取手市)	県南地区担当
監 事	◎ 山 村 寛 (ひまわり市)	県北地区担当
〃	宮 本 雅 夫 (〃)	〃

※ 茨難連役員 ◎ 健常者

新 入 会 員 の 紹 介

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

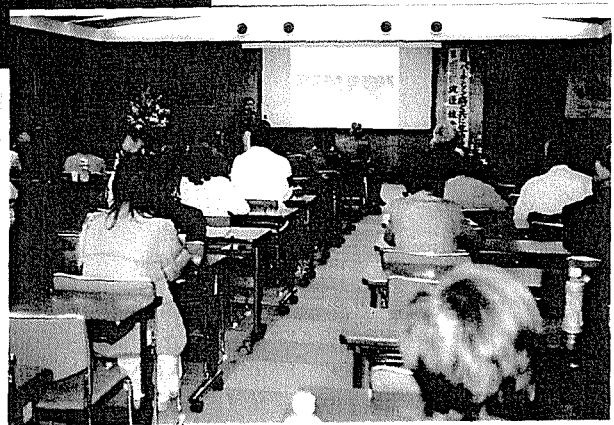
氏 名	住 所	入会日	氏 名	住 所	入会日
大高 美代	日立市	19. 4. 15	山崎 良子	日立市	19. 8. 15
海老原芳子	竜ヶ崎市	〃	葛生 キヨ	古河市	9. 28
石井 芳枝	筑西市	4. 24	倉時加代子	常総市	10. 1
松田さつき	取手市	5. 2	細田八寿子	神栖市	10. 20
田所 静香	日立市	5. 15	飯塚 道子	つくば市	10. 30
篠崎 務	筑西市	5. 22	若山 弘	〃	〃
松井 正弘	日立市	5. 22	山崎 博史	日立市	10. 31
加崎 春枝	つくばみらい市	5. 23	飯田 盛善	小美玉市	20. 2. 29
伊東 新二	取手市	7. 22	吉田 正幸	牛久市	2. 29

総会風景



総会の総合司会
寺門正次氏

筑波大学大学院
人間総合科学研究所
渡邊雅彦先生による
医療講演会



総会アンケートの回答から

定期支部総会に出席して

友の会役員の方々には感謝しております。私共が特定疾患の恩恵にあずかっておりますのも、皆様のお陰様と思います。

ニュースなどで厚労省でも肝炎の患者さんへの補償金が増えて、その割合が多くなり大変なのでしょう。

午後の医療講演に期待しています
朝、あわただしく出てきましたので、内服薬を忘れてきました。

薬については、お医者さんの言うとおりに飲んでいきますので心配していません。

リハビリとして、水中歩行、水泳(少しづつ)、アクアビクス、ヨガ等スイミング・スクールプログラムを出来る限りこなしております。

腰痛の件、取り上げていただきありがとうございます。先生のお話で元気づけられました。

会員の広場

みんなのひろば

支部設立から22年・支部会報作り再出発



事務局 清水 晴美

思い起こせば今から22年前、1986年3月23日大雪の日、水戸において支部設立総会が開催され、この日全国17番目の支部として茨城支部が誕生しました。この日は朝から大雪で総会の進行が心配されていましたが、総会が終了し、記念講演の途中で心配していたとおり交通機関の全面不通の報が入りました。やむなく、当時は筑波大学病院・神経内科教授であった金澤先生のご講演を途中で打ち切って頂き、先生を車で土浦までお送りしました。ご帰宅までに4時間もかかってしまい、先生には大変ご迷惑おかけしたこと、今も申し訳なく思っております。東京本部の役員さんたちも、午前2時頃に帰り着いたそうです。

このような大変な日に誕生した茨城支部です。これからも会員みんなの心の拠り所として大切に守りつつ、一方、この支部がその役目を終え解散する日が一日も早く来るよう祈ることも忘れられません。

設立5周年記念には、つくば市のノバホールでザイラー夫妻のピアノデュオを計画しました。1年前から支部役員とボランティア30名のご協力を頂き、準備を開始しました。つくば市内いたる所にポスター貼り、チケット売り等の懸命の努力で、当日は満席、ノバホール周辺は交通渋滞になるほどの大成功でした。しかし、興行関係者、税金関係には何の手続きもせず、怖い物知らずとはいえよくやったと、今思い出してもゾットします。

設立10周年記念は、全国から130名の参加者をお迎えして、大洗のかもめ荘を貸し切り、全国総会を開催しました。1泊して翌日は、水戸の県総合福祉会館で金澤先生による全国大会の記念講演が行われました。このため参加者を水戸の講演会場に移すため、大洗・水戸間を大型バスとマイクロバスでピストン輸送を行いました。また、偕楽園散策グ

グループと若年性部会出席グループのグループ分けやその案内など、大変な仕事でしたが、役員の皆様のお陰で成功裏に終えることが出来ました。

それにしても、『今だったら、とてもあんな大変なこと、考えもつかないわ!』とつくづく思います。ここまで年を重ねると体が動かなく、頭の回転も悪くなってきているのです。

設立20周年記念は、2年前、また金澤先生より記念講演をして頂きました。先生には、設立以来節目ふしめにはご多忙にもかかわらず、茨城支部のためご足労をおかけし、感謝の気持ちで一杯です。これからも末永くご指導頂きたくよろしくお願い申し上げます。

この日の午後はお子さんのフラダンスショーをお願いし終了しました。

ここまでは何にも解らないまま夢中でやらせて頂きましたが、このへんが限界であり、30周年はどなたかに引き継いでお願いしたいと思っております。

主人がパーキンソン病になり、これからどうなるのか、悩み苦しんだ時もありましたが、こんなに沢山の方との出会いがあり、皆様のご協力を頂き心より感謝申し上げます。

親戚もない県へ全国大会がある度に行けたのは、我が家の旅行を兼ねて本当に幸せでした。

今年の支部総会でもお願いしましたが、支部会報は皆様の会報です。一人でも多くの会員の思いが載るような会報にしたいと思います。

会報作りには、表紙を飾る写真はこれまでとおおり綿引義男さんが担当してくださり、また、鹿志村悟さんにもお手伝いをお願いしました。後は皆様の原稿待ちです。日頃思っていること、短歌・俳句・川柳など、趣味のこと、旅先での写真・デッサンなど、何でも結構です。嬉しいことも悩みごともみんなに分ち合える会報を作りましょう。

主人は会社に勤めていた頃は、ゴールデンウィークの休日は会報作り、毎年家でパソコンに向かっており、何処にも出かけたことはありませんでした。

発病して40年、最近是指先に力が入らず病状は悪化しております。

会員誰もが楽しみに待つような、そんな会報が出来るようご協力をお願い申し上げます。発行はこれまで5月、10月を予定しておりましたが、少しは遅れてもかまいません。よろしくお願い申し上げます。

楽しかった卓球大会

つくば市 大久保 幸市

12月16日竜ヶ崎総合体育館（たつの子アリーナ）で、関東地区の卓球大会が行われ参加させていただきました。ありがとうございます。

当日は朝早く起き、はやる気持ちを抑えて、駅まで女房に車で送ってもらい、佐貫駅まで電車、ついでバスを乗り継いでいよいよ会場へ到着です。

私の卓球歴は20歳の頃、会社の昼休みにやったくらいです。早く着いたので、練習の時間がありました。ラケットは自分のを持って行き、やっているうちに昔とった杵柄といいますが、大分馴れてきました。

競技時間が来て、トーナメントの表が張り出されました。私の対戦相手は見ると千葉県の人でした。私より年配のように見えたので、これはいただきと内心喜んで試合に臨みました。11点先取した者が勝ち、3回戦で2勝した者が勝ち抜きで、上に進みます。結果は2回とも見事完敗でした。相手の方は決勝まで行きましたので、対戦相手が悪かった

のだと強がりをも自分自身に云っていました。

早々と負けた者同志で練習試合をやっているうちに、だんだんエスカレートし最後には左手でやろうと熱が入り、楽しい1日を送らせて頂きました。

申し遅れましたが、今回の卓球大会において、植本さんはじめ、多くの関係者の方々に大変お世話になりました。細かいところまで気を遣ってくださり、お昼のお弁当の準備、施設の使用申し込み、バスの詳しい時刻表、その他沢山の心遣いをありがとうございました。来年もやる時は、是非参加したいと思っています。



「パーキンソン病を病んで」

鹿嶋市 茂内 すみ子

『私は5年前ほど前、急に右手の力がでなくなり神経内科で「パーキンソン病」と診断されました。』

10年前から、朝、目覚めてもパッと起きられなくなり、床の上で30分位の準備運動をしないと立ち上がれなくなりました。起きてしまえば日常生活は支障ないので病気とは考えませんでした。5年前、「右手力が異常に出なくなり」と内科医の診察を受けたところ、「脳梗塞ではないか」と言われ、神経内科を紹介されました。

「パーキンソン病は老人に多い」という通り、私は70才の時病気の診断をされました。パーキンソン病特有の症状はひどくはありませんが、L-ドーパ錠剤の効果が切れたら全く生活できないことには変わりありません。

会報では病名が分からず治療もできないで苦しんだ体験が多く伝えられますが、私は一度の診断で治療を始めました。しかし、診断医は「すぐに寝たきりになる」と言って私を驚かせました。その上、薬に過敏な

体質を持つ私は我慢して飲んだ半錠にも気分が悪くなり、トイレの前で倒れたことが2回続きました。これ以上病変があつたらどうしようかと思ひ、始めに診察した内科医に相談したところ、主治医を変更するよう改めて紹介状を書いてくれました。それからは何でも相談できる主治医に恵まれ、安心して治療しています。

「パーキンソン病」にはいろいろの症状がありますが、私は右手足の動作と嚙むことは不自由です。歩けなくなったら大変なので、歩くのには一生懸命です。靴屋の店先には格好のよい靴はたくさん並んでいても「私に履きやすい、歩き易い」靴はなく困りました。日常の着衣は大きなものを選べば何とか着やすくなりますが、汗をかいた時は脱ぐのにどうしても手伝いが必要です。右手の力は使うので一部の調理は出来ません。「天ぷら・炒め物」は危険なのでやらない事にしています。

一昨年は、薬の効き目が切れて疲労を強く感じるようになった時、夏の暑さが来て、昼11時になると体

が動かなくなり、椅子に座り込むようになりました。椅子から立ち上がろうとしても右足は床に張り付いたように動かなくなり、一いち、ひとの手を借りて動かしてもらいました。トイレに入っても便座に座るのに「回れ右」ができなくなり、文字通り立ち往生でした。

最後に、一人で風呂に入れなくなったら大変なので、「介護」のお世話になるしかないかと思った時、診察の予約がとれて、主治医の診察を受けられました。「カバサール」を増やして戴き1日何とか動けるようになりました。

今年は新薬が出るというので3月から新処方を受けていますが、まだ遅れていて効果が見られないのは残念です。

病気に悩まされて、生活をするための知恵はつきました。現在、夕方5時が体力の限界ですが体の動く時

に家事をこなして、日常生活は出来るだけ、一人できるように心がけています。週1回は、元気が出るよう、ボランティアとして老人の話し相手にも出かけます。

5年間、病気はゆっくり進行したので、生活の不自由は少なくできました。汗をかいた時、下着が脱げないことは避けられないと思いますが、家族の助けがあれば「病気に負けない」と信じています。病気が原因のトラブルはありますが、「寝たきり」にだけはならないよう、努力を続けています。

今は、老人の体が思うように動かなくなって行く「パーキンソン病」を発症する方が多くなっていると思います。

老人の「パーキンソン病」はこんな症状の人もいると思える一助になれば幸いです。

お願い（投稿の宛先について）

原稿など投稿資料の散逸を防ぐため、送付宛先を以下に統一いたします。ご協力お願い致します。

郵便番号：310-0826

住所：水戸市渋井町539-4

氏名：鹿志村 悟

「え！ 私になぜ？」

小美玉市 橋本 ^{さかえ}栄愛

平成10年からの永かった更年期障害もやっと終息かと思えたこの時期、この病の後遺症かと当時は考えていたが、今まで起こったことがなかった奇妙な身体運動状態を感じ始めました。「え？ なにこれ！」今まで自分の意志で自由に操ることができていた運動能力が意志と気持ちに反してなにか違和感を感じ、できない不安と焦りが私の心を支配し始めました。

静止時の右脚のふるえ、なにか今までと異なる緊張感、右手握力の減少、歩行時に右腕が十分振れない、右足のひきずり等です。毎日の生活のなかで改善の兆しが見えないまま様子見をしながら数ヶ月が経過しました。或る尊敬している友人が私の話と体の状態を観て、脳神経の異常のチェックを勧めて下さり、土浦協同病院を紹介して下さいました。検査の状況は次のとおりでした。

平成16年10月脳の諸検査実施MRI検査、RI検査、誘発筋電図、誘発脳波検査等、共に脳の機能に異常が無いとの結果でした。脳神経外

科、整形外科を経て最後に神経内科に廻され、パーキンソン病の疑いが症状より見受けられるとし、メネシット錠100mgとアーテン錠2mgを試しに服用し改善の効果を観察することになりました。1ヶ月後の受診の結果パーキンソン病と診断され、薬による治療が開始されました。

その時の驚愕は一生忘れないでしょう。不治の病、日毎に悪化する病と思ひ込み、心は、気持は落ち込みました。「なんで！なんで私が？」。

後、様々な方の励まし、知識の教示及び担当医師の治療と相談等を得ました。感謝の気持ちでいっぱいです。特にクリスチャンである私の為に通っているキリスト教会の兄弟姉妹、聖職者の方々が私の病が癒されることを神、イエスキリストに機会がある毎に祈って下さっていることです。「ガン」ではなくこの病を代わりに神から与えられたことに感謝し、私も私の家族も祈り続けています。イエスキリストを信じ、必ず癒されることを信じ、多少不便ですが毎日を前向きに生きております。

『JPAてなんですか?』

突然「JPAてなんですか?」と聞かれ、皆さんは即答できますか。知っているようで意外と覚えていないものです。そこで、1回目の **知・得コーナー** ではこの用語を取り上げてみました。自分の病気に最も関係あるものです。正しく覚えておきましょう。

◎JPA [Japan Patient Association]

日本難病・疾病団体協議会

日本難病・疾病団体協議会は日本における患者運動のナショナルセンターの確立を目指して、日本患者・家族団体協議会(略称:JPC)、全国難病団体連絡協議会(略称:全難連)など52団体、構成員31万人が参加し、2005年5月30日に統一組織として結成されました。結成宣言『人間の尊厳、生命の尊厳が何よりも大切にされる社会』の実現を願っています。難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患などの患者団体の連合体組織の運動を通じて、医療、福祉、介護、教育、就労、リハビリ、移動等に関する総合対策の確立をめざして活動しています。

現在59団体(37県難連・21疾病全国組織・1準加盟)、3,378組織、312,221人と7団体、31,116人となっております。

◎JPDA [Japan Parkinson's Disease Association]

全国パーキンソン病友の会

◎SSKA [Sintai(身体) Shougaisha(障害者) Kai(会) A]

A:番号のようなもの

[会報発行時には本部に番号をとってもらう]

◎SSK [Sintai(身体) Shougaisha(障害者) Kai(会)]

SSKAとおなじ [しおりの発行時には本部に番号をとってもらう]

みんなのひろば

文芸コーナー

短歌

愛子

- ◎ 健康を維持する為と勧めらる
吾泳げぬままの水泳なるも
- ◎ 水中では重き身体も浮力にて
容易^{たやす}浮きて快感のあり
- ◎ 若きらと六十路の吾もアクアビクスの
四十五分はたちまち終る
- ◎ ハトバスで目黒雅叙園を訪れぬ
竜宮城とガイドは言ひぬ
- ◎ 部屋飾る絵や彫刻の見事さに
浦島太郎と吾もなりたり
- ◎ 男の孫が友に吾をば紹介す
「マイばあちゃん」と変な日本語にて

☆これらの作品は、愛子さんが
『茨城歌人』に発表したものです。



みんなのひろば

趣味コーナー

「友の会」の皆さん、囲碁をやっていますか。やってみたいと思いませんか。碁は頭脳スポーツと言われ、パーキンソン病患者には最適と思われます。そこで1回目の趣味コーナーではこの囲碁を取り上げ、「囲碁とはどんなゲームなのか」を知ってもらい、1人でも多くの方に囲碁に挑戦していただきたいと思います。

囲碁を始めませんか

囲碁とはどんなゲーム？

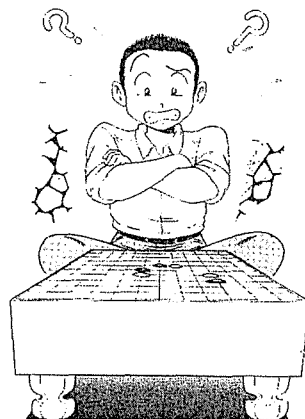
囲碁は、黒と白の碁石（碁石）と碁盤（ごばん）を使って遊ぶ陣取りゲームです。2人で行い、1人が黒い石、もう一人が白い石を持って対戦します。黒と白は互いに盤上で陣地をを広げ合い、囲った陣地の大きい方が勝ちという、基本的にはシンプルなゲームです。ただ、囲碁には、陣地を広げるだけでなく、「石を取る」と言うルールがあります。このため、相手方の石を取り囲んで取る、また逆に取り囲まれて取られる、いわゆる「取った・取られた」、「死んだ・生きた」、「殺す・殺される」、一見ぶっそうな言葉が飛び交う争いが、より複雑でおもしろいゲームになっており、奥の深さを感じさせます。囲碁はまた、頭脳スポーツと言われるほど脳を使います。特に右脳を多用することで、記憶力判断力、集中力がつき、ストレス解消、ボケ防止、脳卒中のリハビリに効果があると注目されています。

さらに、囲碁は年齢、性別に関係なく、友人・家族・師弟・見知らぬ人同士でも楽しめ仲良くなれるコミュニケーションに役に立つと言われていています。

簡単な道具（碁盤と碁石）で、頭を使い、寝ながらでも出来るゲームは、パーキンソン病患者に最適であると思います。

2. 碁を打つときの約束ごと

- ① 2人で打つ。1人が黒石、もう1人が白石を持つ。
- ② 黒、白1つずつ交互に打つ。
互先の場合黒から打つ。置碁の場合は白から打つ。
- ③ 打つ場所は、盤の十文字の上（盤の線と線の交点）。
- ④ 打った石は、動かさない。



2008年2月27日 (水)
読売新聞 朝刊

万能細胞臨床へ拠点

山中教授 研究応用の構想



山中伸弥教授

さまざまな細胞に変化できる「新型万能細胞（iPS細胞）」を作製した山中伸弥・京都大教授は26日、政府の総合科学技術会議の作業部会で、大阪大と共同でiPS細胞の早期の臨床応用を目指す研究拠点構想を明らかにした。同会議も京大を中心とした拠点整備の支援を打ち出しており、実現すれば、基礎研究の枠を超え、臨床応用を含めた広範な研究が同時進行する体制が整うことになる。

新たな拠点は「iPS細胞研究統合推進拠点」。世大iPS細胞研究センターがあるが、iPS細胞をヒトの核として期待される。iPS細胞の研究拠点は、1月に創設された山中

教授をセンター長とする京大iPS細胞研究センターがあるが、iPS細胞をヒトの核として期待される。iPS細胞の研究拠点は、1月に創設された山中

教授をセンター長とする京大iPS細胞研究センターがあるが、iPS細胞をヒトの核として期待される。iPS細胞の研究拠点は、1月に創設された山中

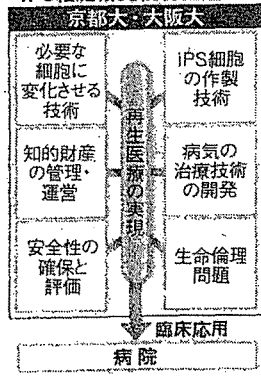
教授をセンター長とする京大iPS細胞研究センターがあるが、iPS細胞をヒトの核として期待される。iPS細胞の研究拠点は、1月に創設された山中

教授をセンター長とする京大iPS細胞研究センターがあるが、iPS細胞をヒトの核として期待される。iPS細胞の研究拠点は、1月に創設された山中

教授をセンター長とする京大iPS細胞研究センターがあるが、iPS細胞をヒトの核として期待される。iPS細胞の研究拠点は、1月に創設された山中

教授をセンター長とする京大iPS細胞研究センターがあるが、iPS細胞をヒトの核として期待される。iPS細胞の研究拠点は、1月に創設された山中

●臨床応用を目指す iPS細胞研究統合推進拠点



と、具体的な病気の治療技術の開発のほか、臨床応用に向けた安全性の確保や評価の方法、移植したい細胞を効率よく作り出す方法などの研究を推進する。

また、治療法を開発する研究で派生する知的財産の管理・運営、先端研究の倫理問題などを検討するため、法律や生命倫理などの専門家が参加する。

山中教授は「一日も早く

療に当たる臨床医などを取らざる臨床現場で、再生医療の実現を図る狙いがある。

拠点では、重症心不全のほかパーキンソン病など現在治療が難しい病気を対象

と、具体的な病気の治療技術の開発のほか、臨床応用に向けた安全性の確保や評価の方法、移植したい細胞を効率よく作り出す方法などの研究を推進する。

また、治療法を開発する研究で派生する知的財産の管理・運営、先端研究の倫理問題などを検討するため、法律や生命倫理などの専門家が参加する。

山中教授は「一日も早く

応用研究 全国に拡大

新型万能細胞

京都大学の山中伸弥教授が人の皮膚から作製した新型万能細胞(iPS細胞)の再生医療への応用研究が全国の大学や研究機関で広がってきた。横浜市立大学や東北大学は脳神経や角膜などの再生しようとしている。東京大学は血液中の止血成分を作り出そうと試みている。研究者らは十年以内の実用化を目指しており、治療が難しい病気への新たな対処法になる可能性を秘めている。

横浜市立大の中山孝准 東北大の西田幸二教授はヒトiPS細胞から脳神経細胞を作り、神を、目の「角膜」の前段階性の難病であるパーキンソン病患者の治療に役立てる研究を二〇〇八年床応用が始まっている。またマウスのiPS細胞から再生できるのは角膜スでの移植を実施する。のごく一部のみ。

2008年2月27日(水)

日本経済新聞 夕刊

東北大 角膜を再生 東大 血液成分に

▼iPS細胞 人体のあらゆる組織に成長できる万能細胞の一種。京大の山中教授らが二〇〇七年に作製した。従来の万能細胞の代表格だった胚細胞(はい)性幹細胞(ES細胞)は受精卵を凍して作るため、生命倫理上の課題が指摘されている。iPS細胞はこうした問題がない。患者自身の細胞から反応のため移植時の拒絶反応もなくなる。期待されている。

細胞から角膜全体ができる。提供不足に悩む角膜移植の代替手段になる。東大の中内啓光教授はヒトiPS細胞から血液の血小板を作る研究を始めた。すでにマウスiPS細胞からの作製には成功している。血小板は止血成分だ。血液を万能細胞から人

工的に作り出せば、現在の輸血と比べて病原体混入のリスクが小さくなる。献血不足の問題も回避できる。国立国際医療センターの湯尾明部長はiPS細胞から白血球、東大の辻浩一郎准教授は赤血球を作る研究に着手する。

臓器再生を目指す研究も始まっている。横浜市立大の谷口英樹教授や熊本大学の桑昭范教授は、

糖尿病の治療を目指してiPS細胞から膵臓(すいぞう)を作る。重い糖尿病患者は膵臓で「インスリン」を生み出す細胞が死滅してしまう。再生した膵臓の細胞を移植できれば完治する可能性がある。膵臓の再生に取り組むのは熊本大の西中村隆一教授。〇八年中にヒトiPS細胞から膵臓の細胞を作る研究を始める。腎臓機能が衰えた患者に細胞を移植して回復させる治療法の開発が目標だ。

iPS細胞の研究について、文部科学省は精子や卵子などの作製は当面禁止するが、それ以外の規制は設けない方針。従来のヒト胚(はい)性幹細胞(ES細胞)は研究に敵しい事前審査が必要だったが、一連のiPS細胞の研究については倫理的な問題点が少ないため厳しい規制は必要ない。厚生労働省も病気の治療への応用が始まるのに備えて臨床研究のルール作りにも乗り出す。

新型万能細胞(iPS細胞)の研究に着手・計画中の主な大学・研究機関(カッコ内は再生を目指す細胞や組織)

対象となる病気など	研究機関
パーキンソン病(脳神経細胞)	横浜市立大
脊髄損傷(神経)	慶大
網膜の病気(網膜細胞)	理化学研究所
角膜の損傷(角膜)	東北大
心臓病(心臓の筋肉)	阪大、慶大
糖尿病(膵臓の細胞)	横浜市立大、熊本大、国立国際医療センター
肝炎(肝臓の細胞)	国立国際医療センター
腎臓病(腎臓の細胞)	熊本大
輸血の代替(赤血球、白血球、血小板)	東大、九大、国立国際医療センター、理化学研究所
骨折など(軟骨・骨)	東大
皮膚の難病(皮膚)	順天堂大
がんのワクチン療法、関節リウマチなど(免疫細胞)	熊本大

パーキンソン病薬に副作用

パーキンソン病の治療薬を服用した患者が、車の運転中に突然眠り込んだために起きた交通事故が、1996年からこれまで23件あったことが、製造販売元2社のまとめでわかった。うち18件は、日本ベリンガーインゲルハイムが2004年1月に発売した「ピシフロール」(一般名フ

前兆なく眠り

ラミペキソール)で起きており、同社は、厚生労働省の指示で医療機関に文書を配り、注意を呼びかけている。患者が交通事故を起こした薬は、ピシフロールのほか、同社の「ドミン」(同タリペキソール)、グララソ・スミスクラインの「レキップ」(同ロピニロール)で、両社は注意を強めるよ

交通事故23件

う使用説明書も改定した。日本ベリンガーインゲルハイムによると、3年半にわたりピシフロールを服用していた40歳の女性は、時速50キロで走行中に眠り込んでガードレールに衝突し、車は大破してあごにけがをした。事故前から、前兆もなく突然眠ってしまうことがあり、事故後に薬を変えたところ症状は消えた。

この薬の服用開始後、1か月未満で起きた事故は3件、1〜3か月では3件、6か月以上たつてからも5件起きていた。承認申請のための臨床試験でも、1件報告されていたという。ドミンでは、1996年6月の発売後4件発生。レキップは、06年12月の発売以来、1件が確認されている。両社は「服用中には車の運転だけでなく、機械の操作や高い所での作業は控えてほしい」と話している。



パーキンソン病

厚生労働省が特定疾患に指定している神経難病。神経伝達物質のドーパミンが不足し、手足の震えや歩行困難などの症状が進む。患者は人口1000人に1人の割合で、2005年の推計患者数は14万人あまり。発症のピークは50〜60歳代。治療薬の進歩などで、直接の死因となることは少ない。

事務局より

- jpa 総合的難病対策の早期確立を要望する請願書
 jpda パーキンソン病患者・家族の療養生活の質向上に関する請願書
 (協力者名簿)

筑西市・石井芳枝様 山口公彦様 水戸市・石川美代様 那市・寺門正次様
 笠間市・櫻井政憲様、山口房枝様 八千代町・服部恵子様 東海村・宮部昌子
 様水戸市・森田昭代様 つくばみらい市・加藤春枝様 つくば市・大久保幸様、
 小島久子様 取手市・秋谷貞一様 ひたちなか市・山村寛様 守谷市・天野
 敬一郎様 笠間市・今泉八重子様 古河市・古澤一晃様 結城市・菊池和子
 石岡市・清水昇勝様 利根町・和田千恵子様 ひたちなか市・大宮今朝雄様
 水戸市・鹿志村悟様 小美玉市・石田樟様 古河市・阿部由美子様 取手市・西
 村雅夫様 常総市・倉持加代子様 鹿嶋市・茂内すみ子様 つくばみら上山圭
 子様 龍ヶ崎市・海老原芳子様 石岡市・大後隆三様 水戸市・宮部和子様 笠
 間市・市毛アイ子様 つくば市・中村正子 竜ヶ崎市・石田栄子様 土浦市・鈴木
 トク様 つくば市・後藤邦男様 笠間市・秋山とし子様 日立市・永井絹子様
 牛久市・桐淵アイ子様 笠間市・田口静保様、川辺とみ江様 石岡市・清水晴美
 様 潮来市・窪谷ふみ様 日立市・松井正弘様 小美玉市・仲内サチ子様 土
 浦市・徳丸洋一様 古河市・高橋清様 小美玉市市・石津秀夫様 つくば市・
 中島芳江様 日立市・山博史様、泉幸様 常総市・飯村子様 つくば市・飯田
 ふさ子様 笠間市・綿引義男様 竜ヶ崎・植本泰久様ひたちなか市・宮本雅
 夫様

JPA (日本難病・疾病団体協議会) 単位円

署名数	募金額	必要経費	JPA配分	茨難連	支部 元
633 筆	99,080	10,080	43,500,	8,700	34,800

JPDA (全国パーキンソン病友の会) 単位円

署名数	募金額	必要経費	友の会本部	支部還元金
衆 680 筆 参 668 筆	131,320	10,020	85,000	36、320

ご協力有り難う御座いました。請願書の紹介議員は地元選出の衆議院議員の丹羽雄哉議員と参議院議員岡田広議員にお願いして、4月11日全国から 150 名うち茨城県支部清水・植本夫妻が参加して国会請願と厚生労働省交渉を行動行なってきた。

1971年8月7日第3種郵便物認可（毎月6回）1の日・2の日発行
2008年5月25日発行増刊通巻第6244号

訃報	(19.4.1~20.3.31)	
水戸市	大森信枝様	19.7.21
〃	成田弘義様	19.8.16
守谷市	長山きくゑ様	1 9,8
那珂市	寺門京子様	20.1.22
常陸太田市	高橋澄子様	20.2.13
ひたちなか市	渡辺徳治様	20,2,27

寄付金のお知らせ
日本クラウン歌謡学院伊藤
教室 20,5,24 石岡市民会館に
て開催した・第4回チャリティ
カラオケ発表会で22,574円
寄付を頂きました。

心からご冥福をお祈り致します。

- 第23回支部患者・家族交流会は10月11・12日(土・日)国民宿舎やみぞに
予定して居ります。詳細は追ってご案内致します。

編集後記

当号の中で家内が書いているとおり、発病40年になりました。本人は
まだまだと思ってるのですが、事実ですのでしかたありません。このよう
な事を続ければ会員の皆様にご迷惑をかけない内にと思てところに私が
お手伝いしますと、引きついてくれた鹿志村さんに感謝の致します。

難病パーキンソン病の治療法一日も早く確立を願いたいとおもいます。
梅雨に入りじめじめした日が続きまが、ご自愛ください。.....n.s

編集者 全国パーキンソン病友の会茨城県支部
〒315-0018 石岡市若松1丁目7-5
TEL&FAX 0299-22-5580
郵便振替口座番号00300-4-38042
発行者 特定非営利活動法人・障害者団体定期刊行物協会
〒157-0073 東京都世田谷区砧雄6丁目26
TEL03-3416-1698 FAX 03-3416-3129
頒価 500円